

## 南大東島産鳥類目録

姉崎悟・嵩原建二

(沖縄生物学会・沖縄県立博物館)

Checklist of Birds recorded in South Borodino Island

Satoru Anezaki · Kenji Takehara

(The Biological Society of Okinawa · Okinawa Prefectural Museum)

### はじめに

大東諸島は沖縄島から東へ約400kmの洋上に位置し、北大東島、南大東島および沖大東島の3島からなる(図1)。いずれも隆起環礁に由来する海洋島であり、このうち南大東島は大東諸島最大の島で、かつては原生林におおわれた無人島であったが、1900年以降の開拓によって、現在は人口1,500人以上の住民が居住するサトウキビ畑に広くおおわれた島となっている。

南大東島の鳥類記録は1922年9月が最初であり(Kuroda 1923 · 1925)、以来多くの研究者や観察者によって鳥類記録が追加されてきた。昨年発行された日本鳥類目録改訂第6版(日本鳥学会 2000. 以下、目録第6版と略す)では、124種が南大東島に分布し(島名を示さず「大東諸島」と表記されたものも含む)、うち8種について大東諸島固有亜種が認められ、他に12種が南大東島で繁殖する(あるいはしていた)とされている。しかし、これらの分布情報には根拠が示されておらず、また、過去に文献で報告されていながら目録第6版で採用されていない情報も多く存在している。そこで、筆者らは文献調査、山階鳥類研究所における標本調査、および現地調査を行ない、得られた記録を観察年度や時期ごとにまとめ直し、南大東島産鳥類目録の作成を試みた。

本報告を行なうにあたり、貴重な鳥類記録の提供をいただいた南大東村役場の金川雅之氏、船浮中学の奥土晴夫氏、文献調査および標本調査で多大な協力を頂いた山階鳥類研究所の平岡考氏に厚く御礼申し上げます。

### (1) 調査地および調査方法

#### 1) 調査地概要と調査方法

南大東島( $25^{\circ} 55'N$ ,  $131^{\circ} 14'E$ )は、面積 $30.57\text{ km}^2$ 、周囲 $21.2\text{ km}$ 、最高点 $75\text{ m}$ で、海岸線は高さ $10\sim 20\text{ m}$ の絶壁に取り囲まれており、盆地状の中央部には40以上もの池沼が点在している。かつては原生林におおわれていたが、1900年以降の開拓により、現在は島

面積の約60%が農耕地で、その大半がサトウキビ畑となっている。

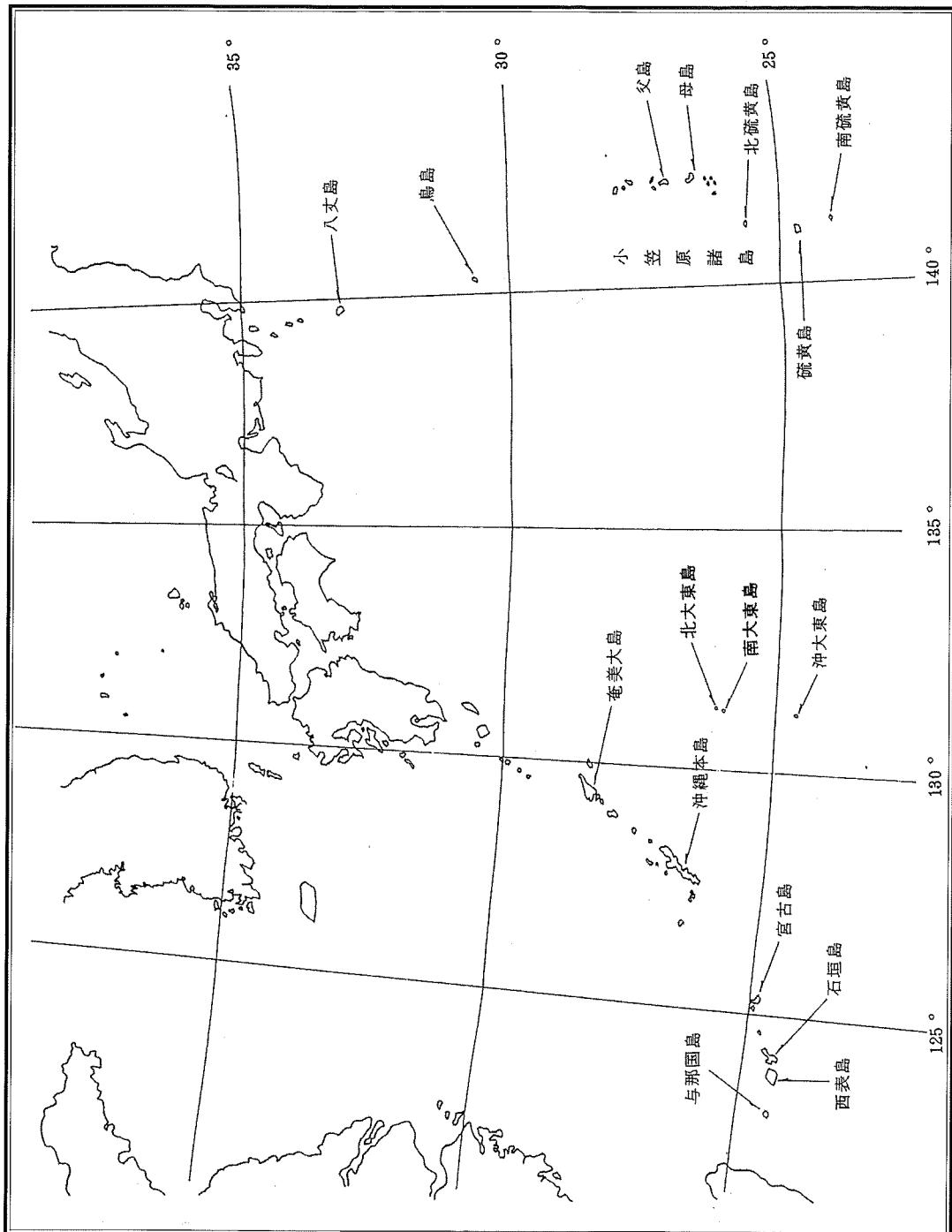


図1. 南大東島の位置 (文化庁、1973を改変)

目録作成にあたり、文献調査、標本調査および現地調査を行ない、できる限り多くの情報を収集した。文献調査は、学術論文以外の文献も対象とし、最終的に末尾リストに示す計45件から情報を得た。ただし、ほかの文献や標本記録と比較して、明らかに誤記と思われる記録は除外した。標本調査は、戦前に記録がある種を中心に調査し、文献調査では得られなかつた記録のみ記した。

現地調査は、1995年3月12～17日、1997年4月19～22日（以上姉崎）、1999年6月3～4日、6月27日～29日、7月14～16日、2000年1月10～12日、3月8～9日、5月15～17日、9月25～27日、2001年2月24日～25日（以上嵩原）の各時期に島に滞在し、任意に観察した鳥類を記録した。姉崎の観察記録の一部は、嵩原他（1999）にて発表しているため、今回は未発表分のみを現地調査結果として示した。また、ふるさと文化センターにおいて標本記録も収集した。

得られた記録を目録第6版の分類にしたがってリスト化し、記録時期を各種ごとに「●」で表（目録）に整理した。その他の特記事項は備考欄に示した。また、現地調査の結果は「■」および「PS」（Present Survey）で示した。同じ調査による記録が複数の文献に記されている場合は、最も詳細に記述されていると思われた文献のみ示した。国内で複数の亜種が確認されている種は、備考欄に南大東島で確認された亜種と、それを最初に同定したと思われる文献を示した。ただし根拠が不十分と思われる場合は無視した。標本ないし野外観察によって繁殖の証拠（巣・卵・ヒナなど）が得られている、あるいは留鳥と思われる種で幼鳥が確認されている場合は備考欄にその旨記した。なお、環境庁（現・環境省）が1998年に発表したレッドリストに基づき、該当する稀少（亜）種にEX（絶滅）、CR（絶滅危惧IA類）、EN（絶滅危惧IB類）、VU（絶滅危惧II類）、NT（準絶滅危惧）、DD（情報不足）の各記号を、また、沖縄県環境保健部自然保護課（1996）に基づき、該当する稀少（亜）種に絶滅、（絶滅）危惧、危急、希少の各記号を付した。

## 2) 目録対象外の種について

Greenway（1958）は、1919年までアホウドリ *Diomedea albatrus* が生息していたと記しているが、これは引用ミスによる誤記で、正しくは北大東島である（山成 1935）。黒田（1935）によれば1933～1934年にキジ *Phasianus colchicus* が移入されたようであるが、その後記録がなく、定着していたかどうかは不明である。大沢・大沢（1997）はアマツバメ *Apus pacificus* の記録を示しているが、これは姉崎が同定不十分のまま報告したものであり、大沢・大沢（1998）では削除された。目録第6版はハジロミズナギドリ *Pterodroma solandri* が分布すると示しているが、この記録（黒田 1932）は中村（1979）による再検討でカワリシロハラミズナギドリ *P. neglecta* に変更された。また、目録第6

版は「大東諸島」にベニバト *Streptopelia tranquebarica* とミヤマホオジロ *Emberiza elegans* が分布すると示しているが、今回の調査で南大東島からの記録はみつからなかつた。以上から、上記 6 種は対象から外した。奥土（2000）はドバト *Columba livia var. domestica* の写真を示しており、こうした外来種の記録も重要だと思われるが、本目録では除外した。

## （2）調査の結果

### 1) 確認された鳥類

全調査の結果、172種の記録を得た（記録時期不明の 9 種を含む）。目録中で \* 印を付した種は、目録第 6 版で分布が示されていない種である。このうちオグロシギ *Limosa limosa*、ホトトギス *Cuculus poliocephalus* およびショウドウツバメ *Riparia riparia* ノビタキ *Sacicolta tarquata* の 4 種は今回の現地調査により初記録となった。カッコウ *Cuculus canorus* は過去に大沢・大沢（1990）の報告があるが、ホトトギスの可能性も否定できないと記されていたので、これも現地調査で初めて確認されたといえる。

確認された全 172 種のうち、目録第 6 版が国内で複数の亜種を認めている種は 37 種であり、このうち 25 種について、文献調査に基づいて南大東島産の亜種を明記した。また、ダイサギ *Egretta alba*、ツメナガセキレイ *Motacilla flava* およびツグミ *Turdus naumannni* の 3 種は現地調査で確認した亜種を示した。アカショウビン *Halcyon coromanda* は奥土（2000）に標本写真が掲載されており、森岡（1990）に従って同定した場合、背面のマゼンタ色が認められず、腰の青白色斑の青みが強いことから亜種アカショウビン *H. c. major* と判断されるが、標本が現存しないため明記は避けた。シロチドリ *Charadrius alexandrinus*、オオソリハシシギ *Limosa lapponica*、キジバト *Streptopelia orientalis*、ヒバリ *Alauda arvensis*、トラツグミ *Zoothera dauma*、アカハラ *Turdus chrysolaus*、アオジ *Emberiza spodocephala* およびシメ *Coccothraustes coccothraustes* の 8 種は、文献をみると十分に亜種の同定が行なわれていないと思われたため、亜種の記述は避けた。このほか、標本調査においてコチドリの亜種ミナミコチドリ *Charadrius dubius dubius* と記載された標本が確認された。また、ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos* の亜種をタイワンハシブトガラス *C. m. colonorum* とする文献もみられた。

繁殖については、文献調査によって 9 種で巣・卵・ヒナのいずれかが確認され、留鳥とされるリュウキュウヨシゴイ *Ixobrychus cinnamomeus*、リュウキュウカラスバト *Columba jayyi* およびリュウキュウコノハズク *Otus elegans* の 3 種についても幼鳥の記録が得られた。スズメ *Passer montanus* および、イソヒヨドリ *Monticola solitarius* は、文献調査では繁殖の証拠が得られなかつたが、現地調査によって繁殖が確認された。なお、スズメは

森林でも繁殖していた。

目録第6版に繁殖（RB, FB）と示されているミサゴ *Pandion haliaetus*, シロチドリ, ヒメアマツバメ *Apus affinis*, ミソサザイ *Troglodytes troglodytes*, ウグイス *Cettia diphone* およびヤマガラ *Parus varius* の6種については繁殖の証拠が得られなかつた。ただし、夏期に記録があるミサゴは繁殖している可能性が高い。ウグイスとヤマガラも、南大東村誌収録の資料によれば開拓以前の夏期に観察例があり（南大東村誌編集委員会 1990：p.9 12）、繁殖していた可能性が高いと思われる。しかしながら、ヤマガラは絶滅したとされ、ウグイスについては、5、6月の観察もあるが繁殖確認はできなかつた。

このほかコアホウドリ *Diomedea immutabilis* とアカモズ *Lanius cristatus* についても繁殖の情報がみられたが、伝聞によるものであり、証拠は得られなかつた。

なお、大東諸島の特色としては、固有亜種8種、カツブリ *Tachybaptus ruficollis* の白色型、マガモ *Anas platyrhynchos* 雄の羽色の地域変異などが文献調査により確認された。ただし、カツブリ、ノスリ *Buteo buteo*, リュウキュウコノハズクおよびミソサザイの固有亜種については異論もみられた。このほか、マガモ、ノスリおよびモズ *Lanius bucephalus* の3種は、大東諸島が沖縄県で唯一の繁殖地であり、南大東島は国内の繁殖南限にあたることも分かつた。

## 2) 目録第6版掲載種との比較

今回の調査で、目録第6版に示された121種のほかに51種（\*印）の記録が確認された。また、目録第6版には採用されていないコチドリの亜種ミナミコチドリ、ハシブトガラスの亜種タイワンハシブトガラスについての情報も得られた。これら新情報のなかには記録時期不明など検討を要する種も含まれているが、目録第7版で少しでも多くの記録が採用されることを期待したい。

なお、目録第6版は各種の地域ごとの分布状況を9タイプに分けて表示しているが、今回の調査結果と比較して、必ずしも一致しない種が多くみられた。例えば、メダイチドリ *Charadrius mongolus* は1923年5月の記録を確認したのみであるが、目録第6版では Winter Visitor と示されている。また、ゴイサギ *Nycticorax nycticorax* とコサギ *Egretta garzetta* は1989年以降ほぼ毎年記録があるが、目録第6版では Irregular Visitor と示されている。シロチドリとヒメアマツバメは1～2例しか記録がないが Resident Breeder と示され、ハシブトガラスは、かつて多数が生息したことを示す論文（黒田 1926）があるにもかかわらず、Accidental Visitor とされている。このように、海洋島という注目すべき地域でありながら、その鳥類相についてはまだ十分な把握がなされていない。今後、本目録が基礎資料となり、より詳しい研究が進められることを期待したい。

### 引用文献

- Greenway,J.C., 1958. Extinct and Vanishing Birds of the World. American Committee for International Wild Life Protection, New York.
- Kuroda,NM., 1923. Descriptions of New Forms of Birds from the Borodino Islands. Bull. Brit. Orn. Club 43:120-123.
- . 1925. A Contribution to the Knowledge of the Avifauna of the Riu Kiu Islands and the Vicinity. published by the author, Tokyo.
- 黒田長禮. 1926. 琉球孤島産鳥類の小採集物に就て. 鳥 5(22):79-95.
- . 1932. 大東列島より初めて知らるる鳥類. 鳥 7(33,34):261-262.
- . 1935. 大東列島の鳥類に就て. 植物及動物 3(7):129-130.
- 南大東村誌編集委員会(編). 1990. 南大東村誌 改訂. 南大東村役場, 沖縄.
- 森岡弘之. 1990. トカラ列島の繁殖鳥類とその起源. 国立科学博物館専報 (23):151-166.
- 中村一恵. 1979. 日本近海産シロハラミズナギドリの分類と分布. 海洋と生物 1(1):24-31.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第6版. 日本鳥学会, 帯広.
- 沖縄県環境保健部自然保護課(編). 1996. 沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物一レッドデータおきなわー. 沖縄県環境保健部自然保護課, 那覇.
- 奥土晴夫. 2000. 南大東島の自然. ニライ社, 那覇.
- 大沢啓子・大沢夕志. 1990. 南大東島で観察された鳥類. 山階鳥類研究所研究報告 22:133-137.
- 大沢夕志・大沢啓子. 1997. 南大東島自然ガイドブック. ボーダーインク, 那覇.
- . 1998. 南大東島自然ガイドブック (第2刷). ボーダーインク, 那覇.
- 嵩原建二・姉崎悟・高木昌興・奥土晴夫・金川雅之. 1999. 南大東島で最近新たに記録された鳥類について. 沖縄県立博物館紀要 (25):75-93.
- 山成不二麿. 1935. 北大東島に於ける燐酸礫土鉱床 [VII] 燐鉱の分布. 東北帝国大学理学部地質学古生物学教室研究邦文報告 (15):25-26.

### 文献調査の対象リスト

- A1 : Kuroda,NM., 1923. Descriptions of New Forms of Birds from the Borodino Islands. Bull. Brit. Orn. Club 43:120-123.
- A2 : Kuroda,N. 1925. A Contribution to the Knowledge of the Avifauna of the Riu Kiu Islands and the Vicinity. published by the author, Tokyo.
- A3 : 黒田長禮. 1926. 琉球孤島産鳥類の小採集物に就て. 鳥 5(22):79-95.
- A4 : 石澤健夫. 1927. 本州に於けるマガモの蕃殖地に就て. 鳥 5(23):261-264.

- A5 : Kuroda,NM.. 1927. Descriptions of Two New Forms. *Ibis* 12th Ser. 3:722-723.
- A6 : 黒田長禮. 1930. ヒメアマツバメの新渡来地. 鳥 6(29):314.
- A7 : ———. 1932. 大東列島より初めて知らるる鳥類. 鳥 7(33,34):261-262.
- A8 : 日本鳥学会. 1932. 改訂 日本鳥類目録. 日本鳥学会, 東京.
- A9 : 山階芳麿. 1934. 日本の鳥類とその生態 第1巻. 梓書房, 東京.
- B1 : 黒田長禮. 1935. 大東列島の鳥類に就て. 植物及動物 3(7):129-130.
- B2 : Yamashina,Y.. 1938. A New Subspecies of *Troglodytes troglodytes* from the Borodino Islands. *Tori* 10(48):227-228.
- B3 : 日本鳥学会. 1942. 日本鳥類目録 改訂3版. 日本鳥学会, 東京.
- B4 : 清棲幸保. 1952. 日本鳥類大図鑑 I ~ III. 講談社, 東京.
- B5 : 日本鳥学会. 1958. 日本鳥類目録 改訂4版. 日本鳥学会, 東京.
- B6 : 黒田長久. 1971. 南大東島のノスリ新亜種について. 鳥 20(89):125-129.
- B7 : 池原貞雄. 1973. 大東島の陸産脊椎動物. 大東島天然記念物特別調査報告. pp.52-62. 文化庁, 東京.
- B8 : 日本鳥学会. 1974. 日本鳥類目録改訂第5版. 学習研究社, 東京.
- B9 : 日本野鳥の会. 1975. 大東諸島. 環境庁委託調査 特定鳥類等調査. pp.269-298. 環境庁, 東京.
- C1 : 友利哲夫・新垣秀雄. 1975. 沖縄の自然 野鳥. 新星図書, 那覇.
- C2 : 樋口広芳. 1979. 島にすむ鳥の生態. 日経サイエンス 9(8):74-88.
- C3 : 中村一恵. 1979. 日本近海産シロハラミズナギドリの分類と分布. 海洋と生物 1(1): 24-31.
- C4 : 日本野鳥の会. 1980. 短報—野鳥情報—. 野鳥 45(8):47-48.
- C5 : 畑正憲. 1986. 人魚の国 天然記念物の動物たち. 角川書店, 東京.
- C6 : 沖縄野鳥研究会(編). 1986. 沖縄県の野鳥. 沖縄野鳥研究会, 沖縄.
- C7 : 佐野昌男. 1988. 信州の自然誌 スズメ 人里の野鳥. 信濃毎日新聞社, 長野.
- C8 : 南大東村誌編集委員会(編). 1990. 南大東村誌 改訂. 南大東村役場, 沖縄.
- C9 : 森岡弘之. 1990. トカラ列島の繁殖鳥類とその起源. 国立科学博物館専報 (23):151-166.
- D1 : 大沢啓子・大沢夕志. 1990. 南大東島で観察された鳥類. 山階鳥類研究所研究報告 22:133-137.
- D2 : 環境庁自然保護局野生生物課(編). 1991. 日本の絶滅のおそれのある野生生物レッジデータブックー脊椎動物編. 日本野生生物研究センター, 東京.

- D3：宮城邦治・嵩原建二. 1992. 北大東島の鳥類と哺乳類. ダイトウオオコウモリ保護対策緊急調査報告書. pp.53-62. 沖縄県教育委員会, 那覇.
- D4：安部直哉. 1993. 特異な「リュウキュウコノハズク」. Birder 7(8):18-21.
- D5：大沢夕志・大沢啓子. 1995. オオコウモリの飛ぶ島. 山と渓谷社, 東京.
- D6 : McWhirter,D., Ikenaga,H., Iozawa,H., Shoyama,M. & Takehara,K.. 1996. A Check-list of the Birds of Okinawa Prefecture with Notes on Recent Status including Hypothetical Records. Bulletin of the Okinawa Prefectural Museum (22): 33-152.
- D7 : 嵩原建二・久貝勝盛・大城亀信. 1996. 最近（1995年4月から1996年3月）沖縄県で目撃された興味深い鳥類について. 沖縄県立博物館紀要 (22):173-178.
- D8 : 佐伯昌彦. 1996. 最近何か出てますか？－野鳥情報ネットワーク－35 沖縄県南大東島. Birder 10(10):97.
- D9 : Birder編集部. 1997. 1996年日本に舞い降りた珍鳥たち. Birder 11(6):44-49.
- E1 : 沖縄県環境保健部自然保護課(編). 1997. 特殊鳥類生息環境調査 伊平屋島・久米島・南大東島・北大東島湿地編. 沖縄県環境保健部自然保護課, 那覇.
- E2 : 大沢啓子. 1997. 最近何か出てますか？－野鳥情報ネットワーク－116 沖縄県島尻郡南大東村. Birder 11(3):93.
- E3 : 日本野鳥の会研究センター. 1998. ホウロクシギの衛星追跡調査. 野鳥 63(5):44.
- E4 : 大沢夕志・大沢啓子. 1997. 南大東島自然ガイドブック. ボーダーインク, 那覇.
- E5 : ———. 1998. 南大東島自然ガイドブック（第2刷）. ボーダーインク, 那覇.
- E6 : 茂田良光. 1999. メジロ(2)－日本産と外国産の亜種の識別. Birder 13(3):46-53.
- E7 : 嵩原建二・姉崎悟・高木昌興・奥土晴夫・金川雅之. 1999. 南大東島で最近新たに記録された鳥類について. 沖縄県立博物館紀要 (25):75-93.
- E8 : 奥土晴夫. 2000. 南大東島の自然. ニライ社, 那覇.
- E9 : 高木昌興. 2000. 南大東島に生息するモズの羽色および形態の記載, 島内の分布状況と繁殖生態. 山階鳥類研究所研究報告 32(1):13-23.

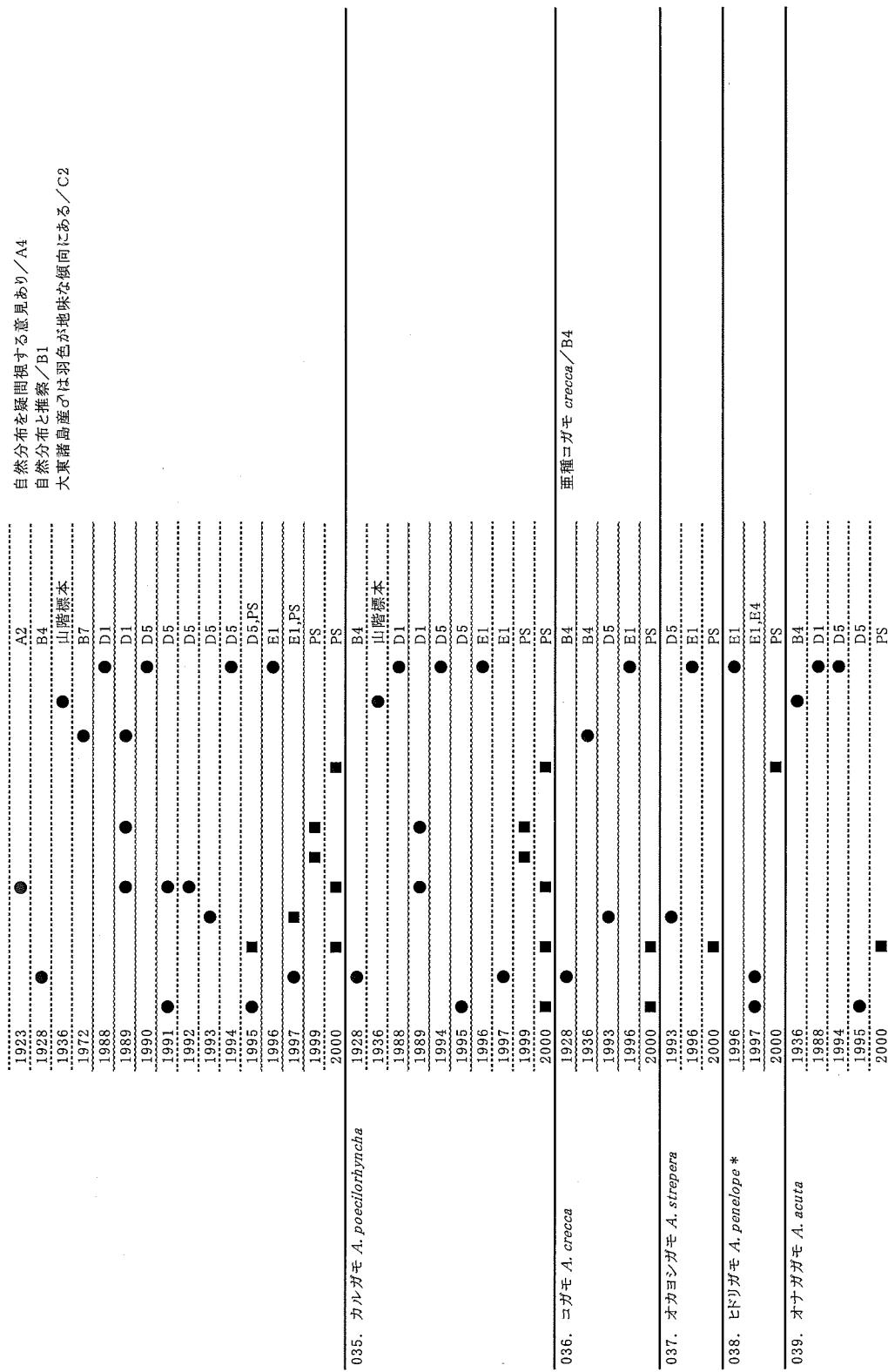
# 南大東島産鳥類目録

	カイツブリ 目	年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	文献	備考
001. カイツブリ <i>Tachypterus ruficollis</i>		1922					●								アシカイツブリ <i>Kantygnathus kantygnathus</i> (基産地) / A5	
[希少]		1924				●									アシカイツブリ <i>Poggei</i> に分類されたこともある / B3B4B5B7B8B9E1	
		1926			●										ミネルバ・ヒナ・種認 / B9e5D1E1E7	
		1928		●											白色型確認 / B9C5D1E1E4E7E8	
		1936			●										1891年9~10月に「ヘキゴ」確認の記述あり / C8(p.920)	
		1972			●										B7	
		1974			●										B9	
		1979		●											C5	
		1988				●									D1	
		1989				●									D1	
		1990				●									D5	
		1991	●			●									D5	
		1992			●										D5	
		1993			●										D5	
		1994				●									D5	
		1995	●		●										D5,B7	
		1996				●									D8,B1	
		1997	●	●	●	●									E1,E4,E7	
		1999				■	■	■	■	■	■	■	■	■	PS	
		2000	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	PS	
		002. ベジロカツフリ <i>Podiceps nigricollis</i>	1938							●					E7	
		003. カンムリカイツブリ <i>P. cristatus*</i>	1936								●				E7	1980年代に大東諸島で記録あり / C7
	ミズナギドリ 目	年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	文献	備考
004. コアホカドリ <i>Diomedea immutabilis</i>		1980				●									C4	島民によれば1900年まで繁殖 / C4
[EN]																
005. カワリシロハラミズナギドリ		1931				●									C3	日本初記録
<i>Pterodroma neglecta</i>																
006. シロハミズナギドリ <i>P. hypoleuca *</i>		1994					■								センタ一標本	
007. アナドリ <i>Bulweria bulwerii *</i>		1936				●									B4	
		1937				●									B4	
008. オオミズナギドリ		1994					記録月不明								センタ一標本	
<i>Calonectris leucomelas *</i>																
009. オナガミズナギドリ		1995						記録月不明							センタ一標本	
<i>Puffinus pacificus *</i>																
010. アカオネッタイチヨウ																
ペリカン 目		年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	文献	備考
																C6
Phaethon rubricauda * [EN:希少]																
011. カツコドリ <i>Sula leucogaster</i> [希少]		1928			●										B4	
012. カワウ <i>Phalacrocorax carbo</i>		1936													B4	

1990														
1991	●												D5	
1996													D5	
1997	●												E1	
1996													E1	
013. ヴミダラ <i>Ph. Capillatus</i> *														
1996													B7	
2000	■	■											PS	
014. ヨクシカンドリ <i>Fregata ariel</i>	1981				●								A7	
015. ヨシゴイ <i>Ixobrychus sinensis</i>	1988	●											B4	繁殖ヨシゴイ <i>sinensis</i> / B4
	1974	●											B9	
	1989	●											D1	
	1990	●											D5	
	1991	●			●								D5	
	1992		●										D5	
	1994		●										D5	
	1995	●	■										D5, PS	
	1996		●										D8, E1	
	1999		■	■									PS	
	2000	■		■									PS	
016. オオヨシヅヤ <i>I. euthyathmus</i> [EN]	1922				●								B4	
017. ヨコエゲラヨシゴイ <i>I. Cinnamomeus</i> [希少]	1922				●								A2	秋期に幼鳥確認 / A2
	1923				●								A2	
	1928	●											B4	
	1936				●								B4	
	1972		●										B7	
	1974	●											B9	
	1988		●										D1	
	1989		●										D1	
	1990		●										D5	
	1991	●			●								D5	
	1992		●										D5	
	1993		●										D5	
	1994		●										D5	
	1995	●	■										D5, PS	
	1996		●										D8	
	1997	●											E1	
	1999		■	■									PS	
	2000	■		■									PS	
018. ゴイサギ <i>Nycticorax nycticorax</i>	1988				●								D1	
	1989		●										D1	
	1990		●										D5	
	1991	●											D5	
	1992		●										D5	
	1993		●										D5	

019. ササギ <i>Butorides striatus</i>	1922	■	●	●	A2
	1928	●			B4
	1936	●	●	●	B4
	1989	●	●	●	D1
	1990			●	D5
	1991	●			D5
	1992	●	●		D5
	1999	■			PS
	2000	■			PS
020. アカシラギ * <i>Ardeola bacchus *</i>	1998	●	●	E7	
021. アマサギ <i>Bubulcus ibis</i>	1923	●	●	A2	
	1936		●	B4	
	1974	●	●	B9	
	1989	●	●	D1	
	1990		●	D5	
	1991	●	●	D5	
	1992	●	●	D5	
	1993	●	●	D5	
	1994			●	D5
	1995	●		D5	
	1996		●	D8	
	1997	■		PS	
	1999	■	■	PS	
	2000	■		PS	
022. ダイサギ <i>Egretta alba *</i>	1988		●	D1	亜種チエヴァダイサギ <i>modesta</i> を確認 / PS
	1989	●		D1	
	1990		●	D5	
	1991	●		D5	
	1992	●		D5	
	1993	●		D5	
	1994		●	D5	
	1995	●	■	D5, PS	
	1996			E1	
	1997	●	■	E1, PS	
	1999	■	■	PS	
	2000	■		PS	
023. チュウサギ <i>E. intermedia</i>	1936		●	B4	
[NT, 希少]	1988		●	D1	
	1989	●		D1	

1990		●	D5				
1991	●	●	D5				
1992	●		D5				
1993	●		D5				
1994		●	D5				
1995	●	■	D5, PS				
1996			●	E1			
1997	●	■	E1, PS				
1998		■	PS				
1999		■	PS				
2000	■	■	PS				
1989	●	●	D1				
1990		●	D6				
1991	●	●	D5				
1992	●		D5				
1993	●		D5				
1994		●	D5				
1995	●	■	D5, PS				
1997	●	■	E1, PS				
1999		■	PS				
2000	■	■	PS				
024. エササギ <i>E. goliotta</i>							
025. カラシラサギ * <i>E. euclorophotes</i> * [DD]	1996	●	D9				
026. クロササギ <i>E. sacra</i> *	1991	●	E4				
027. アオササギ <i>Ardea cinerea</i>	1988		●	D1			
	1990		●	D5			
	1991	●	●	D5			
	1992	●	D5				
	1993	●	D5				
	1994		●	D5			
	1995	●	■	D5, PS			
	1996			E1			
	1997	●	■	E1, PS			
	1999	■	PS				
	2000	■	PS				
028. ハシガササギ * <i>A. purpurea</i> * [危急]	1974	●	B9, 標本記録)				
	1977		E7				
	1998	●	E7				
029. ヘラサギ <i>Platalea leucorodia</i> [DD]	1995		●	D7			
030. クロシリヘラサギ <i>P. minor</i>	1997	●	E1, E2				
[CR, 希少]	1998	●	E7				
	1999	●	E7				
カモ目	年	年	文献				備考
031. コクガシ <i>Branca bernicla</i> [VII]	1998	●	E7				
032. サカシラガシ <i>Anser cygnoides</i> * [DD]	1997	●	E1, E2				
033. オジドリ <i>Aix galericulata</i> [危急]	1936	●	B4				
	1999	●	E7				
034. マガモ <i>Anas platyrhynchos</i>	1922	●	E7				
		●	A2A4				



040. シマアジ <i>A. querquedula</i> *	1993	●	E7	
041. ハシビロガモ <i>A. clypeata</i>	1931 ●	●	A7	
	2000 ■ ■	■	PS	
042. ホシハジロ <i>Aythya ferina</i>	1994 ●	●	D5	
	1995 ●	●	D5	
	1997 ●	●	E1	
	2000 ■	■	PS	
043. キンクロハジロ <i>A. fuligula</i>	1958 ●	●	B4	
	1936 ●	●	B4	
	1988 ●	●	D1	
	1994 ●	●	D5	
	1995 ●	●	D5	
	2000 ■	■	PS	
044. スズガモ <i>A. marila</i> *	1996 ●	●	E7	
	1999 ■	■	PS	
タカ目				
	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献	備考	
045. ミササギ <i>Pandion haliaetus</i> [NT, 危急]	1928 ●	●	B4	
	1988 ●	●	● D1	
	1989 ●	●	● D1	
	1990 ●	●	● D5	
	1991 ●	●	● D5	
	1992 ●	●	● D5	
	1993 ●	●	● D5	
	1994 ●	●	● D5	
	1995 ●	●	● D5	
	1996 ●	●	● E1	
	1997 ●	■	E1, PS	
	1999 ■	■	PS	
	2000 ■ ■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■ ■	PS	
046. ヒカル <i>Mitrus migrans</i>	1994 ●	●	D5	
	1995 ● ●	● ●	D5, D7, E7	
	1996 ●	●	E1	
047. オオタカ <i>Accipiter gentilis</i> * [VU]	1993 ●	●	D5	
048. アカヘラタカ <i>A. soloensis</i> *	1998 ● ●	● ●	E7	
	2000 ■ ■	■ ■	PS	
049. ツミ <i>A. gularis</i>	1928 ●	●	B4	
	1936 ●	●	山鷹標本	
	2000 ■ ■	■ ■	PS	
050. ヘイタカ <i>A. nisus</i> [NT]	1936 ●	●	B4	
	1994 ●	●	D5	
	1995 ●	●	D5	
051. ノスリ <i>Buteo buteo</i> [ダイサノスリ; CR, 危惧]	1964 ●	●	B6	
	1997 ●	●	E7	

052.	サシナバ <i>Buteastur indicus</i>	1936	●	B4			
		1988	■	D1			
		1996	■	E1			
		2000	■	PS			
053.	ハイイロチューヒ <i>Citreous cyanurus*</i>	1998	●	B7			
054.	チヂヴヒ <i>G. spilopterus</i> [VU]	1936	●	B4			
		1980	●	D5			
		1991	●	D5			
055.	ハヤブサ <i>Falco peregrinus</i> [亜種ハヤブサ: VU, 危急]	1923	●	A2			
		1989	●	D1			
		1998	●	E7			
056.	チョウゲンボウ <i>F. tinunculus</i>	1988	●	D1			
		1990	●	D5			
		1991	●	D5			
		1994	●	D5			
		1995	●	D5			
		1996	●	E1			
		1999	■	PS			
		2000	■	PS			
	ツル目	年	1	2	3	4	5
			5	6	7	8	9
			10	11	12	文献	備考
057.	マナヅル <i>Grus vipio</i> [VU]					D6	
058.	ヒクイナ <i>Potana fusca</i> [リョウキュウヒクイナ: 希少]	1922	●	●	A2		
		1989	●	●	D1		
		1996	●	●	D8		
		1999	■	●	S		
		2000	■	■	PS		
059.	バシバシ <i>Gallinula chloropus</i>	1922	●	●	A2		
		1928	●	●	B4		
		1936	●	●	B4		
		1972	●	●	B7		
		1974	●	●	B9		
		1988	●	●	●	D1	
		1989	●	●	D1		
		1990	●	●	D5		
		1991	●	●	D5		
		1992	●	●	D5		
		1993	●	●	D5		
		1994	●	●	D5		
		1995	●	■	D5, PS		

1996	●					D8, E1	
1997	●	■				E1, PS	
1998		■	■			PS	
1999		■	■			PS	
2000	■	■	■	■		PS	
060. シルクイナ <i>Gallifex cinerea</i> *							
061. オオハシ <i>Fulica atra</i> [希少]	1928	●			B4		
	1988				B4		
	1990	●			● D1		
	1991	●			● D5		
	1994				D5		
	1995	●	■		● D5		
	1996		■		D5, PS		
	1997	●			● E1		
	2000	■	■		E1		
062. ミヤコドリ科 <i>Haematopus ostralegus</i>					PS		
チドリ科	年	1	2	3	4	5	6
063. ユチドリ <i>Charadrius dubius</i>	1936	●			B4		
	1989	●			● D1		
	1997	●			E1		
	2000		■		PS		
064. シロチドリ <i>Ch. alexandrinus</i> [希少]	1995						
065. メダイチドリ <i>Ch. mongolus</i>	1923	●					
066. オオメダイチドリ <i>Ch. leschenaultii</i>	1992	●			A2		
	2000	■			D5		
067. ムナクロ <i>Pluvialis fulva</i>	1922	●	●		PS		
	1928	●					
	1936		●				
	1988		●				
	1989		●				
	1990		●				
	1991	●					
	1992		●				
	1993		●				
	1994		●				
	1995	●	■				
	1997	■	■				
	2000	■	■	■	PS		
068. タガツ <i>Vanellus vanellus</i>	1990						
	1991	●				D5	
	1994					D5	
	1995	●				D5	
						D5	

		1998	●													E7	
		年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	文献	備考	
069.	キヨウジョウギ <i>Arenaria interpres</i>	1923								●					A2		
		1936									●				山陰標本		
		1991	●												D5		
		1992	●												D5		
070.	ヨーロッパトネン <i>Calidris minutilla</i> *	1998				●									E8	(奥土私信)	
071.	トネン <i>C. ruficollis</i>	1923				●									A2		
		2000	■												PS		
072.	ヒベリギ <i>C. subminuta</i>	1922				●									A2		
073.	オジロトネン <i>C. temminckii</i>	1922				●									A2		
074.	アメリカウズラシギ <i>C. melanotos</i> *	1998				●									E7		
075.	ヴァラシギ <i>C. acuminata</i>	1922				●									A2		
076.	ハマシギ <i>C. alpina</i>	1936				●				●					B4		
077.	ミヤキシギ <i>Philomachus pugnax</i> *	1998				●				●					E7		
078.	オオハシシギ	1998								●					E8	(奥土私信)	
<i>Limnodromus scolopaceus</i> *																	
079.	ツルシギ <i>T. erythropus</i>	1998	●												E7		
080.	アカアシシギ <i>T. totanus</i>	1974		●											B9		
	[VU, 希少]	1989			●										D1		
081.	コアオアシシギ <i>T. stagnatilis</i> *														E7,E8		
082.	オアシシギ <i>T. nebularia</i>	1936					●								B4		
		1988						●							D1		
		1990							●						D5		
		1991	●							●					D5		
		2000	■												PS		
083.	クサシギ <i>T. ochropus</i>	2000				■									PS	1999年以前にも記録あり/E7	
084.	タカブシギ <i>T. glareola</i>	1928				●									B4		
		1936					●								B4		
		1972						●							B7		
		1989	●						●						D1		
085.	メリケンキアシシギ <i>T. incanus</i>	1974				●									B9		
086.	キアシシギ <i>T. brevipes</i>	1928				●									B4	1974年以前にも記録あり/B8	
		1974				●									B9		
		1989					●								D1		
		1991						●							D5		
		1992							●						D5		
		1993								●					D5		
		2000	■												PS		
087.	イシシギ <i>T. hypoleucus</i>	1936				●									B4		
		1974					●								B9		

088. ソリハシシギ <i>Xenus cinereus</i> *	1988 1990 1991 1993 1997 1999 2000	● ● ● ● ■ ■ ■	● ● ● ● ■ ■ ■	D1 D5 D5 D5 PS PS PS				
089. オグロシギ <i>Limosa limosa</i> *	2000	■		PS				
090. オオアヒバシギ* <i>Limosa lapponica</i>	1997	●		PS				
091. ダイシャクシギ <i>Numenius arquata</i>	1988 1989 1990 1992 1993 1994 1995 1997 2000	● ● ● ● ● ● ● ● ■	● ● ● ● ● ● ● ● ■	D1 D1 D1 D1 B1 B4 D5 E1 PS				
092. ホウロシギ <i>N. madagascariensis</i> [VU]	1998	●	記録月不明	E3				
093. チエヴァクシギ <i>N. phaeopus</i>	1922 1929 1989	● ● ●		A2 D1				
094. ヤマシギ <i>Scolopax rusticola</i>	1936 1994 1995 1997 2000	● ● ● ● ■	● ● ● ● ■	B4 B4 D5 D5 PS				
095. タシギ <i>Gallinago gallinago</i>	1928 1936 1989 1991 1997 2000	● ● ● ● ■ ■	● ● ● ● ● ●	B4 B4 D1 D5 PS PS				
096. ハリオシギ <i>G. stenura</i>	1928	●		B4				
097. チエヴァクシギ <i>G. megala</i>	1922	●		A2				
098. オオオジシギ <i>G. hardwickii</i> [NT]	1928 1936 2000	● ● ■	● ● ●	B4 B4 PS				
099. セイタカシギ科	年 1990 1991 1998 2000	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	D5 D5 E7 PS	亜種セイタカシギ <i>himantopus</i> / E7			
100. ツバメチドリ科 <i>Glareola maldivarum</i> [VU, 危急]	年 1997 1998 2000	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	E7				
カモ科	年 1998 1998 2000	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	E5, E7 B4 E4				
101. エリカモメ <i>Larus ridibundus</i> *	1998	●		●				
102. ゼグロカモメ <i>L. argentatus</i>	1936	●		●				
103. ヴミネコ <i>L. crassirostris</i> *	1991	●						



116. アオベズク <i>Ninox scutulata</i>	1922 1936 1998 2000 ■	● A2 ● B4 ● E7 PS	亜種アオベズク <i>japonica</i> / A2 亜種チヨウセニアオベズク <i>macroptera</i> も分布 / B5
117. ヨタカ <i>Caprimulgus indicus</i>	1928 1936 1989 ■	● B4 ● B4 D1	備考
118. ハリオアツバメ <i>Hirundapus caudacutus</i>	1929 1999 ■	● A6 PS	日本初記録
119. ヒメアツバメ <i>Apus affinis</i> [希少]	1924 1936 1990 1991 ● 1996 1997 ■ 2000 ■	● A3 ● B4 ● D5 ● D5 ● E1 ● E1 PS	亜種アカショウビン <i>major</i> と思われる写真あり / E8
120. アゲハチソウ目 <i>Halcyon coromanda</i> *	1998	● E7	備考
121. カワセミ <i>Alcedo atthis</i> [希少]	1924 1936 1990 1991 ● 1996 1997 ■ 2000 ■	● A3 ● B4 ● D5 ● D5 ● E1 ● E1 PS	日本初記録
122. ヤツガシラ <i>Upupa epops</i> [希少]	1998 ■	● E7	1989年以前にも記録あり / C8
		スズメ目	
123. ヒバリ科 <i>Alauda arvensis</i> *	1998 ■	● E5	備考
124. シヨウドウツバメ科 <i>Riparia riparia</i> *	2000 ■	PS	備考
125. シヨウドウツバメ <i>Hirundo rustica</i>	1922 1936 1972 1974 1989 1991 1992 1993 1994 1995 ● ■ 1997 ■ 1999 ■ 2000 ■	● A2 ● ● 山階標本 ● B7 ● B7 ● B9 ● D1 ● D5 ● D5 ● D5 ● D5 ● D5 PS	亜種シヨウドウツバメ <i>gutturalis</i> / A2
126. リュウキュウツバメ <i>H. tahitica</i>	記録時期不明	B8	1980年代に大東諸島で記録あり / C7
127. イワツバメ <i>Delichon urbica</i>	1997 ■	E7	備考
セキレイ科	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献	

128. イワミセキレイ <i>Dendrananthus indicus</i> *	1996		●	B4	
129. ツメナガセキレイ <i>Motacilla flava</i> *	1998	●	B7		亜種マジロツメナガセキレイ <i>stomilima</i> を確認／PS
	2000	■	PS		
130. キセキレイ <i>M. cinerea</i> *	1992	●	A2		
	1993	●	山階木本		
	1994	●	B7		
	1995	●	D1		
	1996	●	D1		
	1997	●	D5		
	1998	●	D5, PS		
	1999	●	B1		
	2000	■	B1		
		PS			
131. ハクセキレイ <i>M. alba</i>	1996	●	B4		亜種ハクセキレイ <i>lugens</i> /B4
	1990	●	D5		亜種ホオジロハクセキレイ <i>leucopsis</i> も分布／B7
	1991	●	D5, B7		
	1993	●	D5		
	1994	●	D5		
	1995	●	D5		
	1996	●	E1		
	2000	■	PS		
132. マジロタヒバリ <i>Anthus novaeseelandiae</i> *	1996	●	B4		
	1998	●	B7		
133. ピンズトイ <i>A. hodgsoni</i>	1996	●	B4		亜種ピンズトイ <i>hodgsoni</i> /B4
134. ムネアカタヒバリ <i>A. cervinus</i> *	1996	●	B4		
135. サンショウウ科 <i>Pericrocotus divaricatus</i> * 〔亜種サンショウウ科イ:VU〕	年	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献		備考
	1989	●	D1		亜種サンショウウ科イ <i>divaricatus</i> /E4
	2000	■	PS		
136. ヒヨドリ科 <i>Hypsipetes amaurotis</i>	年	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献		備考
	1922	●	●	A1,A2	亜種ダイトウヒヨドリ <i>borodinonis</i> 基産地／A1
	1958	●	●	B4	古集確認／B7
	1936	●	●	B4	開拓以前・初期の分布を示す記述あり／C8(p.912,923,933,948 etc.)
	1972	●	B7		
	1974	●	B9		
	1988	●	D1		
	1989	●	D1		
	1990	●	D5		
	1991	●	D5		
	1992	●	D5		
	1993	●	D5		
	1994	●	D5		
	1995	●	D5, PS		

モズ科													備考	
年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
137. モズ <i>Lanius bucephalus</i>	1973	●								C9			果立ち後の幼鳥確認／C9	
	1974	●							B9				繁殖確認（詳細不明）／D3	
	1977	●							D3				巣・卵ヒナ確認／E9	
	1988		■	■	■	■	■	■	●	D1			次種との中間的個体を観察／B9	
	1989		●	●	●	●	●	●	D1				現在の個体群はモズのみの特徴を持つ／E9	
	1990		●	●	●	●	●	●	●	D5				
	1991	●	●	●	●	●	●	●	●	D5				
	1992	●	●	●	●	●	●	●	D5					
	1993	●	●	●	●	●	●	●	D5					
	1994	●	●	●	●	●	●	●	●	D5				
	1995	●	■	■	■	■	■	■	D5,PS					
	1996	●	●	●	●	●	●	●	●	D8,E1				
	1997	●	■	■	■	■	■	■	E1,PS					
	1999		■	■	■	■	■	■	E1,PS					
	2000	●	●	●	●	●	●	●	E1,PS					
									E9,PS					
138. アカモズ <i>L. cristatus</i>	1929	●							A6				種シマアカモズ <i>lucionensis</i> ／A6	
	1972	●	●	●	●	●	●	●	B7				伝聞により繁殖と記述／B7	
	1974	●	●	●	●	●	●	●	B9				前種との中間的個体を観察／B9	
レンジャク科														
139. ヒンジヤク <i>Bombycilla japonica</i> *	1999	●							E8				(奥士私信)	
ミソサザイ科	1938	●												
140. ミソサザイ <i>Trochocercus trochocercus</i> [ダイトウミソサザイ EX. 極渡]	1938	●												
ツグミ科	年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
141. ノジマ <i>Luscinia calliope</i>	1937	●												
	1938	●												
142. ルリビタキ <i>Tarsiger cyanurus</i> *	1996	●												
143. ジョウビタキ <i>Phoenicurus auroreus</i>	1990	●												
	1991	●												
144. ノビタキ <i>Saxicola torquata</i> *	2001	■							PS					
145. インセキヨドリ <i>Monticola solitarius</i>	1972	●							B7				亜種インセキヨドリ <i>philippensis</i> ／B8	
	1974	●							B9				開拓初期に「鳥類には赤腹最も多く」との記述あり／C8(p.990)	
	1988	●							D1					
	1989	●							D1					
	1990	●							D5					
	1991	●							D5					
	1992	●							D5					
	1993	●							D5					

146. トランクミ <i>Zoothera dauma</i>	1991 1999	● ■	E4 E7	
147. アカハラ <i>Turdus chrysolaus</i> *	1998	●	E7	
148. シロハラ <i>T. pallidus</i> *	1988 1990 1991 1994 1995 2000	● ■ ● ● ● ■	D1 D5 D5 D5 D5 PS	1980年代に大東諸島で記録あり／C7
149. ツグミ <i>T. naumannii</i> *	1988 1991 1993 1995	● ● ● ■	D1 D5 D5 PS	垂種ツグミ <i>ennomus</i> を確認／PS 1980年代に大東諸島で記録あり／C7
150. ヴワイス <i>Cettia diphone</i> [ダイトウヴァイス・BX、絶滅]	1922 1937 1938 1972 1988 1989 1990 1991 1999 2000	● ● ● ● ● ● ● ● ■ ■	A1 B4 B4 B7 D1 D1 D5 D5 PS	垂種ダイトウヴァイス <i>restricta</i> (基準地)／A1 ダイトウの標本は1922年の2体のみ、戦災焼失／D2 開拓以前・初期の分布を示す記述あり／C8(p.912,923,933,948 etc.) 垂種)エワキコウヴァイス <i>rufiventris</i> も分布／B5 リエワキエウバはん為分布とされる／B5 人為分布に疑問あり／B8 現在の個体群は垂種の検討が必要／B8 渡りをしている可能性あり／D3
151. オヨシキリ	2000	■	PS	1974年以前にも記録あり／B8
<i>Acrocephalus arundinaceus</i>				
152. ムジセッカ <i>Phylloscopus fuscatus</i>	1991	●	E7	
153. キマユムシクイ <i>Ph. Inornatus</i> *	1998	●	E7	
154. メボソムシクイ <i>Ph. borealis</i>	2000 1922 1936 1937 1989	■ ● ● ● ●	PS A2 B4 B4 D1	垂種メボソムシクイ <i>xanthodryas</i> とコメツメツクイ <i>borealis</i> が分布／A2
155. キクイタダキ <i>Regulus regulus</i>	1988	●	D1	備考
ヒタチ科	年 1924 1936	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	文献 A3 B4	
156. キビタキ <i>Ficedula narcissina</i>	-			垂種キビタキ <i>narcissina</i> ／A3

157. オオオルリ <i>Cyanoptila chanomelana</i>	1993	●	D5
158. サメビタキ <i>Muscicapa striatica</i>	1936	●	山階標本
159. エンゼビタキ <i>M. griseisticta</i>	1922	●	A2
	1989	●	D1
	1995	●	E7
160. ニサメビタキ <i>M. dauurica</i>	1989	●	D1
161. シエウカラガラ科 [ダイトウヤマガラ, EX. 絶滅]	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 文献		備考
	1922	●	A1,A2
	1938	●	
	1936	●	B4
	1972	●	B4
	1974	●	B7
	1979	●	B9
	1988	●	C5
	1989	●	D1
	1990	●	D1
	1991	●	D5
	1992	●	D5
	1993	●	D5
	1994	●	D5
	1995	■	D5
	1996	●	D5
	1997	●	D5
	1999	■	E1,PS,山階標本
	2000	■	PS
162. メジロ <i>Zosterops japonicus</i> [ダイトウメジロ:希少]	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 文献		備考
	1922	●	A1,A2
	1938	●	
	1936	●	
	1972	●	
	1974	●	
	1979	●	
	1988	●	
	1989	●	
	1990	●	
	1991	●	
	1992	●	
	1993	●	
	1994	●	
	1995	●	
	1996	●	
	1997	●	
	1999	■	
	2000	■	
163. アオジ <i>Emberiza spondoplephala</i> *	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 文献		備考
	1996	●	E4
164. アトリ科	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 文献		備考
	1988	●	D1
165. イカル <i>Fringilla montifringilla</i>			
166. シメ <i>Boethona personata</i>	1994	●	E4
	1989	●	D1
<i>Coccothraustes coccothraustes</i>			
167. ハタオリドリ科	年 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 文献		備考
	1922	●	A2
	1936	●	B4
	1972	●	B7
	1974	●	
	1975	●	
	1982	●	C7
	1986	●	C7

	年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	文献	備考
168. コムクドリ <i>Sturnus philippensis</i>	1922							●						A2	
	1989							●						D1	
	1991							●						D5	
	1997							■	■	■	■	■	■	PS	
	1999							■	■	■	■	■	■	PS	
	2000	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	PS	
ムクドリ科															
169. ホシムクドリ <i>S. vulgaris</i>	1991								●					E7	
	1993								●					B4	
	1994								●					D5	
	1995	●												D5	
170. ムクドリ <i>S. cinereus</i>	1936														
	1994														
	1995														
カラス科															
171. ミヤマガラス <i>Corvus frugilegus</i>	1932														
	1924														
172. ヘンプトガラス <i>C. macrorhynchos</i>	1924														

亜種ハシブトガラス *japonensis* / A3

タイワンハシブトガラス *colonolum* に分類されたことももある / A8A9

タイワンハシブトガラスに最も近いと記述 / B1

多かっただが有害駆除で激減したとの記述あり / A3

開拓以前、初期にカラス類生息の記述あり / C8(p.912, 920, 933 etc.)